

1 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊の概要	大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して地域おこし活動をしなが、定住を図る取り組み。総務省が2009年度から始め、自治体の募集経費（上限200万円）や隊員1人あたりの活動経費400万円（うち報償費200万円）などを支援する。自治体の受け入れ人数に制限はなく、協力隊員は年々増えている。14年度は444自治体で計1511人が活動した。隊員の約8割が20～30代。任期はおおむね1年以上3年以下。約6割が任期終了後もその地域に定住している。長岡市では、今年度より募集を開始し、現在栃尾地域と小国地域で計7名が活動中。
-------------	---

2 取り組み団体数・隊員数の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28.6.1
県内取組自治体数	2	2	2	4	8	10	16	18
新潟県（人）	7	17	23	25	46	63	92	99
全国（人）	89	216	413	617	978	1,511	2,625	—

3 小国地域の受入れ状況

受入れ団体	法末集落	八王子グリーンツーリズム	(農法)ちやざわ生産組合
活動場所	法末地内	八王子・芝ノ又地内	千谷沢地内
協力隊員名	・勝見尚紀(たかとし) ・石曽根溪(けい)	・中村慎一郎	・吉本航(わたる)
採用年月	・平成28年11月:勝見隊員 ・平成28年12月:石曽根隊員	・平成28年11月	・平成28年11月
・地域が求める活動内容	・来訪者の集落散策案内	・地場特産品の開発	・お米、米粉等の販売開拓
	・地域資源を活用した事業の企画・運営	・ブログを活用した情報発信など	・インターネット活用の情報発信
	・棚田米の直販、新規販売の開拓	・6次産業を立上げ、販路開拓	・地場特産品直売所立上げ、運営
	・特産品の加工・販売	・祭り・イベントの開催支援	・農業の担い手として農業研修
	・まつりの存続と活性化	・買い物、通院支援	
	・除雪作業や雪堀隊の支援	・雪堀隊として活動支援	
	・「やまびこ」の管理運営等	・シラネアオイの保護、環境整備等	

4 隊員の身分等

- (1)採用職種 長岡市地域おこし協力隊(非常勤嘱託員)
- (2)所属 小国支所地域振興課
- (3)勤務場所 各活動団体の活動拠点および小国支所地域振興課
- (4)任用期間 平成29年3月31日まで。ただし、任用期間を最長3年まで更新することができる。
- (5)勤務時間 週30時間以内
- (6)報酬額 166,000円
- (7)休日 勤務割表によりあらかじめ示された日(勤務日は月21日程度)